

感染リスクより安らぎ効果重視

生花

病院持ち込み

感染症予防を理由に生花の持ち込みを禁止する病院が多い中、「感染の可能性はほとんどない」として、生花を再び病院に取り入れようという動きが出てきた。院内の共有スペースに生花を飾ったり、院内に生花店を誘致したりと、花の持つ癒やし効果に着目した多彩な取り組みが始まっている。(齋藤花)



病院の受付に笑顔で生け花を飾る華道班のメンバー(長野県佐久市のJA長野厚生連佐久総合病院で)



受付や談話室など院内33カ所に生花のアレンジメントを飾るようになった静岡市立静岡病院(同病院提供)

OK

10年ぶり方針転換 随所にアレンジ花

立院 岡市 岡病 静岡

10年前から生花の持ち込みを禁止してきた静岡市立静岡病院が今春、方針を変えた。受付や談話室など共有スペース33カ所に生花のアレンジメントを飾るようになった。きっかけは3月、花き業者と医療関係者ら200人以上を集めたシンポジウム「病院にふたたび花を」の開催だった。感染治療学の専門家の講演を聴き、「生花が原因として菌の感染が拡大する危険性よりも、患者に与えるリラクセス効果の方

撤去でなく 管理を徹底

長野・佐久総合病院

「生花が感染のリスクを高める科学的根拠はない」として1945年から一貫して花を飾り続けるのは、JA長野厚生連佐久総合病院(長野県佐久市)。伊澤敏院長は「常在菌を恐れて院内中から花という安らぎを撤去するのは、花の管理を徹底すればいいことだ」と主張。血液疾患などの病棟を除き、今後も「院内全体を生花で満たす」と宣言する。花を生けるのは、同病院労働組合の華道班の女性9人。毎週、病院玄関や受付、人間ドック棟の廊下など共有スペース11カ所に生け花を飾る。鷹野邦一総技師長は「受付の生け花が、精密検査を受ける人の不安を和らげている」と花の効果を感じ取る。毎年5月の病院祭と10月の院内華展では、JA佐久浅間が提供する花を使った「大作」を発表。その豪華さに、入院患者や来院者から「通院のたびに堪能した」「入院中心がなごんだ」と感謝の手紙が届くほどだ。感染問題に詳しい神戸大学大学院医学研究科の岩田健太郎教授は「生花が原因で菌の感染が拡大するリスクは、血液内科などの特殊病棟以外はない」と強調。「病院は患者さんに制約や我慢を強いることなく、患者さんの視点に立って、生花を楽しんでもらうための対策を立てることが重要」と助言する。

農作業中の男性 雷に打たれ死亡

佐賀市

佐賀県警諸富署は2日、佐賀市諸富町の水田で同町内の男性(69)が落雷で死亡したと発表した。死因は落雷による電撃死だった。同署によると1日の午後8時ごろ、近所の親類が水田付近を通った際、左手にくわを握った状態でおおむけに倒れている男性を発見した。県内には雷注意報が出ていた。同署は「農業中の天気の急変、突然の雷には注意してほしい」としている。

北・東日本大荒れ

福島市で1時間100ミリ

上空の寒気や湿った空気の影響で、北海道から東北、関東甲信、北陸、東海で2日、大気の状態が非常に不安定となり、福島市では1時間に100.0ミリの局地的に猛烈な雨が降った。気象庁は同日、福島県に記録的短時間大雨情報を発表した。北日本一転、あすから猛暑

あすから猛暑

気象庁は2日、北海道と東北で4日から6日にかけて最高気温が35度以上の猛暑となる所がある」と発表した。3日から急激に気温が上がる見込みで35.5度程度上がる地域もある。東海以西も引き続き猛暑となる見通しで、警戒が必要だ。同庁は「今まで涼しかった北日本で急に暑くなる。体が暑さに慣れていないと高齢者を中心に熱中症になり田畑で倒れることが多く、警戒してほしい」と(予報課)としている。

小売店を誘致 患者にも好評

田院 亀病 千院 総合

「花があることで来院者や病院の職員に喜ばれている。これまで院内感染への不安を聞いたことはない」と、出店する青山フラワーマーケット川・亀田メディカルセンター店を運営するパーク・コーポレーションの拝野多美さんは話す。

一時6割「否定的」

2002年に大阪府内の病院で花瓶から緑膿(S. pneumoniae)菌が検出されたことがきっかけで、患者への感染拡大を恐れ、全国の病院で生花の持ち込みが禁止されるようになった。

生花への問題 病院持ち込み

花き卸売市場協会が14年、全国主要7都市の病院を対象に実施した生花の持ち込み調査によると、回答した377病院のうち全面禁止は26%、一部禁止は35%と、計6割が否定的だった。全面禁止を地域別に見ると大阪が44%と最も多く、次いで名古屋39%、札幌32%、東京21%だった。福岡と広島はそれぞれ3%、4%と低かった。

院内のロビーに生花店を誘致した病院もある。千葉県鴨川市の亀田総合病院だ。店内の通路は車椅子に乗っていても楽に通れるように広く取って、花の陳列も低く設置した。売り上げの7割は自家用、3割が見舞いだ。

熱中症搬送400人超

総務省消防庁は2日、7月25〜31日の1週間に全国の4063人の熱中症で救急搬送されたとの速報値を発表した。前週より137人増えた。搬送先で死亡が確認されたのは8人。